

こっこめ通信 06 2009

「この先どうなるのか」号



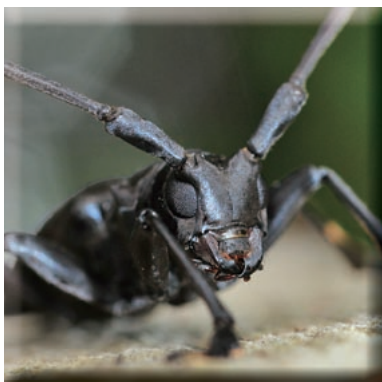
八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年のGWも前半は天候にも恵まれましたが、後半には少し崩れてしまいました。ここ数年のGWはいつもこのような天候になっているように感じます。それでも島にはたくさんの観光客が訪れ、ビジターセンターは近年にない来館者で賑わいました。たくさんのお客様が来てくれるとうれしいですね。

そして今年は、5月に入っても雨が少なかったのですが、28日は久しぶりの大雨！！一日の降水量が247.5mmを記録し、5月の1位の値を更新しました。これで光るキノコも見られるようになるでしょう。

さて、今回は「活動し始めたムシたち」「クロツラヘラサギの記録」についてのお話です。

活動し始めたムシたち



最近いろいろなムシたちの姿を見るようになってきたので撮影してみました。

まだまだ小さいギリギリの仲間。成虫になって繁殖活動を始めようになってきたクワガタムシやカミキリムシなどの甲虫たち。夜の外灯に集まりだした大きなガの仲間たち。翅を広げ、陽の光をいっぱい浴びてるチョウの仲間。

毎年毎年季節がちゃんと分かって、後に世代を残していく。当たり前の事ですすがすごいです。

ムシたちが棲みやすいように、私たちが自然をしっかりと残してあげなければいけませんね。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

クロツラヘラサギの記録

2009年5月1日、島の西側にある八重根漁港で「クロツラヘラサギ」が確認されました。日本へは数少ない冬鳥・旅鳥として飛来し、沖縄などで少数が越冬をしています。この鳥は世界的に分布域が狭く、2009年の調査（香港観鳥会）では2041羽しか記録されていない貴重な鳥です。

日本でも平成14年度から17年度まで調査が行われました。その時、12羽のクロツラヘラサギの右足にアルファベットと数字の書かれた足環、左足に色の付いた足環が着けられました。

今回、島にたどり着いたクロツラヘラサギにはこの足環（写真：左下）があり、右足には「J08」、左足には「白／青」の足環がはっきりと確認できました。この足環からこのクロツラヘラサギに関していろいろなことが分かってきました。

足環が着けられたのは2005年3月、性別は雌、その時すでに成鳥であったようです。繁殖地は、朝鮮半島の北朝鮮と韓国の国境線付近。毎年沖縄県南部の具志干潟で越冬をしていました。渡りの途中には鹿児島県の万之瀬川河口に立ち寄っています。（下地図）

今年も3月まで沖縄県南部の具志干潟にいたことが確認されています。沖縄から八丈島までは約1400km、一ヶ月の空白期間があるので直接渡ってきたのか、どこかを經由してきたのかは分かりません。どんなルートで来たのでしょうか？

島で初めに確認された5月1日の夕方は少し疲れているのか、片足立ちでじっとしていたそうです。日が沈んだ後に見に行ってみると波打ち際でクチバシを左右に振り何かを食べているように見えました。翌朝には姿が見えなくなり、元気に旅立ったものと思っていました。しかし、ゴールデンウィークが終わった13日、初めに確認された反対の港、神湊漁港で再度確認されました。この時も日没後、波打ち際でクチバシを左右に振り何か食べているようでした。

島にはクロツラヘラサギが好む干潟はなく、水際で足の着くような場所もほとんどありません。13日に見た限りでは元気そうだったのでちゃんと採餌できていたのでしょう。翌日にはいなかったのが今度こそ繁殖地へ旅立って行ってくれたことを願います。そして今年の冬にはまた沖縄に来てくれることでしょう。

参考サイト

環境省・東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ <http://www.sizenken.biodic.go.jp/flyway/>

(財)日本野鳥の会：クロツラヘラサギ調査研究プロジェクト <http://www.wbsj.org/nature/kisyu/bfs/>

OZOKの沖縄鳥見日記 <http://ozok.cocolog-nifty.com/>



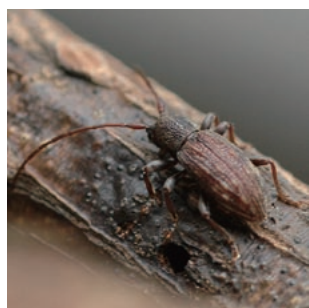
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は5月10日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成21年第5回）参加者・菊池昭，黒田，VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			39	セイヨウタンポポ	花と実	4	エノキ	若い実
1	アオカモジグサ	花と実	40	タチイヌノフグリ	花と実	5	オオシマザクラ	実
2	アオスゲ	花と実	41	チガヤ	花	6	オオバヤシャブシ	若い実
3	イヌガラシ	花と実	42	チチコグサ	花	7	ガクアジサイ	花
4	イワニガナ	花	43	チチコグサモドキ	花	8	カジイチゴ	花と実
5	インチンナズナ	花と実	44	ツメクサ	花と実	9	クワ sp.	実
6	ウスベニニガナ	花	45	ツルマオ	花	10	スダジイ	咲き終わり
7	ウマノミツバ	蕾	46	トウバナ	花と実	11	センダン	花、盛り
8	ウラジロチチコグサ	花	47	ナギナタガヤ	花	12	ナワシロイチゴ	花
9	オオアレチノギク	花	48	ニラバラ	花	13	ハゼノキ	蕾
10	オオジシバリ	花	49	ニワゼキショウ	花	14	ハチジョウイボタ	蕾
11	オオシマカンスゲ	実	50	ヌカススキ	実	15	ハチジョウキブシ	実
12	オオトキワツユクサ	花	51	ヌカボ	実	16	ハチジョウクサイチゴ	花と実
13	オオニワゼキショウ	花	52	ノミノフスマ	花	17	ヒサカキ	若い実
14	オオバコ	実	53	ハキダメグサ	花	18	ヒメユズリハ	花
15	オニタビラコ	花	54	ハチジョウテンナンショウ	実	19	ビロードカジイチゴ	花と実
16	オランダミミナグサ	実	55	ハナイバナ	花	20	ヤブツバキ	実
17	カタバミ	花と実	56	ハハコグサ	花	シダ植物		
18	カニツリグサ	花	57	ハルジオン	花	1	ホシダ	
19	カモジグサ	花と実	58	ヒナギキョウ	花と実	2	ミゾシダ	新葉
20	ギンギシ	花と実	59	ヒメコバンソウ	実	3	ナチシゲシダ	
21	ギョウギシバ	花	60	ヒメジョオン	蕾	4	タマシダ	
22	クサイ	花	61	ヒメヨツバムグラ	花と実	5	タチクラマゴケ	胞子葉
23	ケキツネノボタン	花と実	62	フウトウカズラ	花	6	ヘラシダ	
24	コケミズ	花と実	63	ベニバナボロギク	花	7	オオイタチシダ	新葉
25	コケリンドウ	花	64	ペラペラヨメナ	花 / 初記録	8	タチシノブ	胞子葉
26	コシロノセンダングサ	花と実	65	マツバウンラン	花と実	9	ホラシノブ	
27	コナスビ	花	66	ミゾイチゴツナギ	実	10	ヒトツバ	胞子葉
28	コハコベ	花	67	ムラサキカタバミ	花	11	オニヤブソテツ	
29	コマツヨイグサ	花と実	68	ヤエムグラ	花	12	スギナ	
30	コメツブツメクサ	花	69	ヤブタビラコ	花と実	13	ハチジョウカナワラビ	
31	コモチマンネングサ	花	70	ヤマヌカボ	花と実	14	オオタニワタリ	新葉
32	サクユリ	蕾	71	ヨツバハコベ	花	15	イシカグマ	
33	シチトウスミレ	閉鎖花	72	ヨツバムグラ	花と実	16	マツバラ	胞子
34	シバ	花	木本			今回はシダ植物16種を含む108種の植物を観察しました。春の花に加えて夏の花が咲き始め、随分賑やかになりました。		
35	シロツメクサ	花	1	アカメガシワ	蕾			
36	シロバナマンテマ	花と実	2	イヌビワ	実			
37	スズメノカタビラ	実	3	ウツギ	蕾			
38	スズメノヤリ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、八丈の名前がついている「ハチジョウハネナシチビカミキリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウハネナシチビカミキリ *Neosybra hachijoensis*

カミキリムシ科の昆虫で、御蔵島・八丈島だけに分布しています。大きさは8mm前後、6月頃に、落ちたタブノキの枯れ枝の上で見られるカミキリムシ。島の中でもあまり数が多くはありません。ハネナシといわれている通り、飛ぶことがないと言われています。

2009 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	芒種 5	6 ガイドウォーク
	06 : 02 11 : 42	00 : 15 07 : 15 13 : 31	08 : 10 19 : 47	01 : 42 08 : 54 15 : 56	02 : 22 09 : 32 16 : 43	03 : 01 10 : 08 17 : 23
7 ガイドウォーク	○ 8	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
03 : 38 10 : 43 18 : 00	04 : 14 11 : 17 18 : 34	04 : 49 11 : 52 19 : 06	05 : 24 00 : 07 19 : 37	05 : 59 00 : 40 20 : 08	06 : 36 01 : 15 20 : 39	07 : 16 01 : 55 21 : 13
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	15	● 16	17	18	19	20 ガイドウォーク
08 : 02 02 : 43 21 : 49	09 : 01 03 : 43 22 : 29	10 : 23 04 : 53 23 : 13	06 : 06 17 : 29 12 : 08	00 : 01 07 : 10 13 : 53	08 : 06 20 : 08 15 : 14	01 : 43 08 : 57 16 : 17
夏至 21 ガイドウォーク	22	● 23	24	25	26	27 ガイドウォーク 八文学講座 「公園のシダを極めよう」
02 : 33 09 : 46 17 : 10	03 : 22 10 : 33 17 : 58	04 : 12 11 : 20 18 : 42	05 : 01 12 : 07 19 : 23	05 : 52 00 : 28 20 : 01	06 : 44 01 : 14 20 : 36	07 : 38 02 : 02 21 : 09
28 ガイドウォーク	☾ 29	30				
08 : 36 02 : 55 21 : 40	09 : 46 03 : 56 22 : 12	11 : 18 05 : 07 22 : 49	この色の日は 特別行事があります			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6 / 14 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15名

八文学講座 「公園のシダを極めよう」

毎月行っている八文学講座。公園内にはどれくらいのシダがあるのでしょうか？極めてみませんか？
6 / 27 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2009.6.1 第97号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

編集後記

クロツラヘラサギが来た時はビックリしましたが、旅立ったと思っていたのに再度現れた時はもっとビックリしました。「J08」がまたどこかの場所で確認されるとうれしいです。がんばれ！「J08」ちゃん！（高）